

済生会小樽病院 公開・オプトアウト書式

①	申請番号	R6-1
②	研究課題名	「腎機能低下患者に対するリネゾリドの副作用発現頻度の調査と投与量の考察」
③	情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	リネゾリドは用法・用量の調節は必要ない薬剤とされているが腎機能低下患者において排泄遅延が生じ、副作用発現頻度が上昇する可能性があると考えられている。当院患者において後向き観察研究により検討した結果を講演等で発表する予定である。
④	利用または提供する情報の項目	電子カルテより年齢、性別、血清クレアチニン値、eGFR、リネゾリドの投与日数 等
⑤	対象者及び対象期間	2014年1月～2016年12月までのリネゾリドを使用された患者の研究データと 2022年1月～2023年12月までにリネゾリドを使用された患者
⑥	利用の範囲	研究で得られた結果は、各種研究会、学会発表、論文として報告する予定である。
⑦	資料・情報の管理について責任を有する者	済生会小樽病院 【医療技術部薬剤室 薬剤師 一野 勇太】
⑧	問い合わせ先	済生会小樽病院 総務課 0134-25-4321

もし、研究や情報の提供に同意いただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。
なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。